

ブロモクリプチン錠 2.5mg 「F」

【この薬は？】

| | |
|-----|--|
| 販売名 | ブロモクリプチン錠 2.5mg 「F」 BROMOCRIPTINE tablets |
| 一般名 | ブロモクリプチンメシル酸塩 Bromocriptine Mesilate |
| 含有量 | 1錠中 2.5mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、パーキンソン症候群治療剤、高プロラクチン血症治療剤（麦角（ばっかく）製剤）というグループに属する薬です。
- ・この薬は、ドパミン受容体に作用することにより、プロラクチンや成長ホルモンの過剰な分泌を抑え、末端肥大症・下垂体性巨人症、乳汁分泌、排卵障害、下垂体腺腫の臨床症状を改善します。
- ・この薬は、ドパミンの濃度を高め、ドパミンの脳内の神経伝達を増強することでパーキンソン症候群の症状である手足のふるえ、筋肉が硬くなる、動作緩慢、歩行障害などを緩和します。
- ・次の病気の人に処方されます。

産褥性乳汁分泌抑制

乳汁漏出症

高プロラクチン血性排卵障害

高プロラクチン血性下垂体腺腫（外科的処置を必要としない場合に限る）

末端肥大症

下垂体性巨人症 パーキンソン症候群

- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断し、使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にプロモクリプチン錠に含まれる成分または麦角製剤で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・妊娠高血圧症候群の人
 - ・産褥期高血圧の人
 - ・心エコー検査により心臓弁尖肥厚、心臓弁稼働制限およびこれらに伴う狭窄（きょうさく）等の心臓弁膜の病変が確認された人、または過去にこれらの病変が確認されたことのある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・下垂体腫瘍が大きくなり、明らかな視力障害のある末端肥大症（先端巨大症）の人、または下垂体性巨人症の人
 - ・下垂体腫瘍が大きくなり、明らかな視力障害のある高プロラクチン血性下垂体腺腫の人
 - ・妊娠または妊娠している可能性がある人
 - ・肝障害のある人、または過去に肝障害があった人
 - ・消化性潰瘍のある人、または過去に消化性潰瘍のあった人
 - ・レイノー病の人
 - ・精神病の人、または過去に精神病になったことがある人
 - ・心血管に重篤な障害のある人、または過去に心血管に重篤な障害があった人
 - ・腎疾患の人、または過去に腎疾患のあった人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 乳汁漏出症や高プロラクチン血性排卵障害の治療のためにこの薬を飲む場合は、飲み始める前にトルコ鞍（あん）の検査（下垂体腺腫の有無）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔産褥性乳汁分泌抑制、乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫に使用する場合〕

| | 初期量 | 維持量 |
|------|---------------|----------------------|
| 1日量 | 1錠 | 2～3錠 |
| 飲む回数 | 1日1回夕食直後に飲みます | 1日量を2～3回に分けて食直後に飲みます |

〔末端肥大症、下垂体性巨人症に使用する場合〕

| | |
|------|----------------------|
| 1日量 | 1～3錠 |
| 飲む回数 | 1日量を2～3回に分けて食直後に飲みます |

〔パーキンソン症候群に使用する場合〕

| | | |
|------|---------------|--------------------|
| | 初期量 | 維持量* |
| 1日量 | 1/2または1錠 | 6～9錠 |
| 飲む回数 | 1日1回朝食直後に飲みます | 1日量を3回に分けて食直後に飲みます |

* 1～2週毎に1日量として1錠ずつ増量して維持量を決めます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は、1回分をとばして次の飲む時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

悪心（吐き気）、嘔吐、めまい、低血圧、起立性低血圧（立ちくらみ）、頻脈（胸がドキドキするなど）、傾眠（眠気でぼんやりする）、嗜眠（目が覚めない）、昏睡（意識がなくなる）、幻覚（実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる）、発熱があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

【この薬を服用する全患者さん対象】

- ・著しい血圧降下、前兆のない突発的睡眠（突然の睡眠）、傾眠（眠気でぼんやりする）がみられることがありますので、自動車の運転、機械の操作、高所作業など危険を伴う作業をしないでください。
- ・この薬を飲むときには、血圧、血液学的検査等が行われることがあります。
- ・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族などの方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・長期間服用する場合は、定期的に一般的な婦人科の検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。なお、高プロラクチン血症性排卵障害の人で、使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に伝えてください。
- ・母乳が出にくくなるため、授乳を希望する人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、飲酒は控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

【産褥性乳汁分泌の抑制に使用する患者さん対象】

上記内容に加えて以下の点に気をつけてください。

- ・氷罨法（氷のうなどで乳房を冷やす）などの補助的方法を併用することがあります。
- ・特に飲みはじめの時期に、血圧上昇、頭痛、中枢神経症状（めまい、けん怠感など）などがあらわれることがあります。このような症状があらわれたら直ちに医師に相談してください。

【視野障害のあるプロラクチン産生下垂体腺腫の患者さん対象】

上記内容に加えて以下の点に気をつけてください。

- ・視野障害のあるプロラクチン産生下垂体腺腫の人は定期的に視野検査が行われます。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



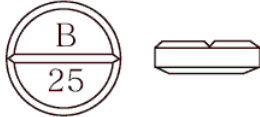
| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|--------------------------|---|
| ショック | 冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下 |
| 急激な血圧低下 きゅうげきなげつあつていか | 立ちくらみ、めまい、頭痛 |
| 起立性低血圧 きりつせいていけつあつ | 立ちくらみ、めまい |
| 悪性症候群 あくせいしょうこうぐん | 38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり |
| 胸膜炎 きょうまくえん | 発熱、咳、胸の痛み、息苦しい、息切れ |
| 心膜炎 しんまくえん | 発熱、胸の痛み、息苦しい、息切れ |
| 胸膜線維症 きょうまくせんいしょう | 咳、胸の痛み、息苦しい |
| 肺線維症 はいせんいしょう | 発熱、から咳、息苦しい、息切れ |
| 心臓弁膜症 しんぞうべんまくしょう | 胸がドキドキする、呼吸が苦しくなる、息切れ、下肢のむくみ |
| 後腹膜線維症 こうふくまくせんいしょう | 腰痛、背中の痛み、下肢のむくみ、尿量が減る |
| 幻覚 げんかく | 実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる |

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|----------------------------|--|
| 妄想 もうそう | 根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する |
| せん妄 せんもう | 意識が乱れる、意識の混乱 |
| 錯乱 さくらん | 意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない |
| 胃腸出血 いちようしゅっけつ | 血を吐く、腹痛、血が混ざった便、便が黒くなる |
| 胃・十二指腸潰瘍 い・じゅうにしちようかいよう | 吐き気、嘔吐、腹痛、血が混ざった便、便が黒くなる |
| けいれん | けいれん |
| 脳血管障害 のうけっかんしょうがい | めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、頭痛、嘔吐、半身まひ、しゃべりにくい、判断力の低下 |
| 心臓発作 しんぞうほっさ | 冷や汗、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい |
| 高血圧 こうけつあつ | めまい、頭が重く痛い、肩こり |
| 突発的睡眠 とっぱつてきすいみん | 前兆もなく突然眠る |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | 冷や汗、発熱、ふるえ、けいれん |
| 頭部 | めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識が乱れる、意識の混乱、判断力が低下する、頭痛、頭が重く痛い |
| 顔面 | 血の気が引く |
| 口や喉 | 飲み込みにくい、咳、から咳、嘔吐、吐き気、血を吐く |
| 胸部 | 息切れ、胸の痛み、息苦しい、吐き気、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、胸がドキドキする、呼吸が苦しくなる |
| 腹部 | 腹痛、吐き気 |
| 背中 | 腰痛、背中での痛み、肩こり |
| 手・足 | 下肢のむくみ、半身まひ |
| 筋肉 | 筋肉のこわばり |
| 便 | 血が混ざった便、便が黒くなる |
| 尿 | 尿量が減る |
| その他 | 判断力の低下、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、前兆もなく突然眠る、しゃべりにくい、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する |

【この薬の形は？】

| | | |
|--------------------|--|--|
| PTP シート |  |  |
| | 表面 | 裏面 |
| 形状 | 片面に割線のある円形素錠 | |
| |  | |
| 直径 | 7mm | |
| 厚さ | 2.8mm | |
| 重さ | 140mg | |
| 色 | 白色 | |
| 識別コード (PTP シート) | FJ B25 | |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|--|
| 有効成分 | ブロモクリプチンメシル酸塩 |
| 添加物 | 乳糖水和物、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸 |

【その他】

- この薬の保管方法は？
 - ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
 - ・子供の手の届かない所に保管してください。
- 薬が残ってしまったら？
 - ・絶対に他の人に渡してはいけません。
 - ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）